



アクセサリファイル ACCESSORY FILE

低音が締まり、全域でエネルギー密度や厚みを増す「メタル」。ほぼフラットバランスの「光」

文 ● 林 正儀 Masanori Hayashi

HF-X-NCF ¥21,780 / 1.2m HF-A-NCF ¥28,600 / 1.5m フルテック

HDMIケーブル



左がメタルのHF-X-NCF。
右が光のHF-A-NCF

S P E C

[HF-X-NCF]
シェル ● NCF材 対応信号仕様 ● 8K/60p/48Gbps
コネクタ ● 金メッキ処理
メイン導体 ● α導体 (26AWG純銀コーティングμ-OFC)

[HF-A-NCF]
形式 ● 光ファイバー+導体ハイブリッド構造
シェル ● NCF材 対応信号仕様 ● 8K/60p/48Gbps
コネクタ ● アルミ合金プラグ+金メッキ処理
シールド ● 静電気、電磁波防止2重シールド
問い合わせ先 ● フルテック株 Tel.03-6451-3941

Photo ● Y.Kawamura

フルテックからHDMIケーブルの注目作が続けて2モデル登場。いずれも最高スペックである8K/60p、4K/120p伝送が可能なメタルケーブルHF・X・NCFと、光ケーブルのHF・A・NCFだ。このようにデータ量の大きな信号を送る場合は、広帯域な48Gbps対応が必須とされている。ウルトラハイスピード認証を取得したHDMI1.2対応の超高速仕様であるが、このカテゴリでNCFを採用したのは、フルテック初である。

主な構造など見ていこう。HF・X・NCFはメイン導体に純銀コーティングのμ-OFCを採用。厳重な三重シールドで、コネクタは肉厚の金メッキ。得意のαプロセスを施しつつ、NCFの調査により制振効果と静電効果を向上させるなどガードは厳重だ。ケーブル長は最長3.6m。一方HF・A・NCFは、光ファイバーとα導体によるハイブリッド構造。

グラスファイバーはOM3という高級グレードで、こちらも

音声ではどちらもワイドレンジだが、「メタル」がより低音が締まり、全域でエネルギー密度や厚みを増す傾向か。「光」はほぼフラットバランスだ。映像、サウンドともどもNCFだからこそ表現できる世界があることを実感できた。

NCFを調査。プラグ内部には特殊な光電変換チップを内蔵して、20mの長尺までカバーしている。プラグ部のカバーは亜鉛調合のアルミ合金だ。

スペックは同等だが、経験上画質的に有利な「光」に対して、「メタル」の方は音にこだわりが出てくる感である。自宅の4KテレビやOPPOのプレーヤーで試すと、8K空撮夜景や映画「クルエラ」など、両者共に暗部ノイズがきれいに抑えられ、S/Nやディテールの緻密さ、輝度の輝きなどその映像クオリティは、標準クラスのHDMIケーブルを遥かに凌ぐ印象だ。そのなかでも「光」はキレ味がよく、よりハイスペックな画力が網膜に染み込んだ。「メタル」は少し味わいや陰影が加味される傾向だ。